



新和会  
宮地 寛行  
みやち ひろゆき

## 行財政改革について

**問**

住民票や印鑑証明書をコンビニで交付できるよう研究するつもりはないですか。市民は市役所や支所にわざわざ行かなくてもよくなり市民サービスが向上すると考えます。また行政側も窓口業務の負担軽減や人件費の抑制にもつながると思いますがいかがでしょうか。

**答**

すでに導入している他都市での利用は交付数の1%から5%程度にとどまっておりますしも人件費の削減にまで結びつかない状況ですが、今後もコンビニだけではなく郵便局も含めての交付について研究していきます。

**問**

教育局でPHSを導入してコスト削減を図るつもりはないですか。PHSは同社回線同士の通話料金が無料のため、幼・小・中学校や文化施設・公民館などの連携を図る際に使われる電話料金が無料になれば、コスト削減効果は大きいと考えますがいかがでしょうか。

**答**

機器購入費といった初期投資費用や施設によっては使用頻度や通信状態の確認等を含め総合的に導入効果を図る必要があります。導入している自治体のコスト削減実績等も参考にしながら研究してまいりたいと考えております。

## 尾道市の歴史・文化について

**問**

市内の歴史や文化を「まんが尾道昔話」という絵本を作って継承するつもりはないですか。地域の人達と協働で作ったり、ブックスタート事業に入れて親子のコミュニケーションを図るのも面白いと思いますがいかがでしょうか。

**答**

郷土の歴史や文化を絵本や映像などで紹介することは興味・関心を抱かせる効果的な手法であると認識しております。今後も民間や各種団体と連携し、インターネットを活用した方法も含めて研究してまいりたいと考えております。

## 防災行政について

**問**

検索サイトのヤフーと災害協定所（HP）よりもヤフーの検索サイトが市民にとっても身近で使い慣れています。ヤフーの地図上で避難場所が表記されたり、住所や標高・備蓄品の種類や収納可能人数が表示されるサービスもあります。またスマートフォンやタブレットの普及により外出先や観光客等の対応も可能と思いますがいかがでしょうか。

**答**

災害時においては正確な情報を迅速かつ確実に伝達することが大切であると考えております。今後インターネット検索サイト運営事業者との協定につきましても、情報提供機能の充実策の一つとして検討してまいります。



新風クラブ  
田頭 敬康  
たがしら のりやす

## 狭い路地に対応した消防力強化について

**問**

平成24年3月には、三軒家町で、また、5月には、西久保町の住宅密集地で火災がありました。被害にあわれた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

この二つの事例からわかるように、

尾道の町は古く千年の歴史を持つまちです。そのため道路幅員が狭く、消火活動に困難を極めております。このような狭い路地に対応して消防力強化のため、他都市の事例を研究、検討してはどうですか。

**答**

三軒家町と西久保町で発生した火災は、周囲の狭隘な道路や、住宅が密集していることが、大きな要因と考えております。

今後も消防団や自主防災組織など、関係者と連携を図りつつ、地域の実情に沿った、防火・防災訓練を行い、他市の取り組みも参考にしながら、最善となる消火活動に努めてまいりたいと考えております。

## 中学校給食の全校実施について

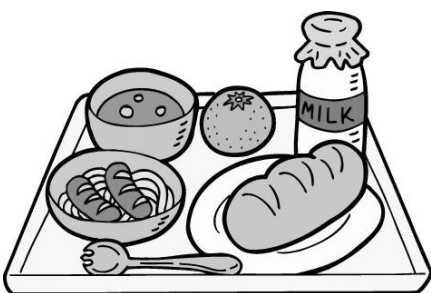
**問**

市内4中学校だけの給食実施でなく、市内全中学校での給食実施を、昨年の9月定例会の一般質問などで提案しておりますが、その後の検討は、どこまで進んでいるのでしょうか。

**答**

中学校給食の実施については、本市の財政状況や、教育活動への影響などを考慮すれば、家庭弁当とデリバリー給食の併用方式で、給食を提供することが、早期に中学校給食を実現することができると考えられると聞いています。

今年度は、デリバリー給食の先進地である広島市、三次市の実施状況について、調査・研究を行っているところです。導入については、引き続き、その他の先進地の実施状況も調査研究を重ね、問題点や課題などを整理した上で、判断していきたいと考えております。





市民連合  
みき ゆき  
三木 郁子

## 経済動向と新たな産業団地 などの雇用創出について

**問** 日本経済の景気後退局面や基幹産業である造船不況が本市の経済へ及ぼしている影響についてどのように分析されていますか。

**答** 多くの企業が厳しい経済環境のもとで懸命に努力されており、今後も日本経済の景気動向と同様に厳しい状況が続くのではないかと考えています。造船2014年問題は、世界の造船業界が抱える問題であり、異常な円高も相まって造船産業を基幹産業とする本市において極めて深刻な問題と懸念しています。

**問** 中国横断自動車道尾道松江線全線開通までに大胆な雇用創出として、新たな産業団地等の具体的な動きがありますか。

**答** 新たな産業団地造成に向けての取り組みとして、今後も県への要望と併せて、産業団地適地を探す取り組みに努めてまいります。

## 「文学のまち尾道」の再生について

**問** 平成25年の林芙美子生誕110年の記念事業の具体的な内容についてお問い合わせします。

**答** 林芙美子ゆかりの地の北九州文学館、かごしま近代文学館、新館歴史博物館が生誕110年にむけて、3館共同で企画展を計画されており、本市もこの企画展に参加すべく準備を進めています。



## 通学路の整備について

**問** 各小学校通学路の合同点検後の対策が必要な箇所数と整備状況と今後の整備予定についてお聞かせ下さい。

**答** 対策が必要な箇所は、8月末現在で155箇所、早急な改善を要する13箇所は、11月末までに改善済みです。今年度末で未整備になると見込まれる約60箇所については、新年度以降順次整備してまいります。



誠友会  
かきもと かずひこ  
柿本 和彦

## 尾道港内渡船の 今後に対する考えについて

**問** 尾道港内渡船に関して、交通弱者が困らないよう、行政として最大限の対策を実施するという決意はありますか。

**答** 尾道大橋無料化後も交通弱者の移動手段を確保するという観点から、港内渡船を維持するための有効な施策のあり方を検討しています。

## 通学合宿の実施について

**問** 通学合宿に関して、どのような評価をしていますか。また、尾道市で実施する場合、課題を解決し実施できるように支援する考えはありますか。

**答** 子どもたちが公共施設で異年齢の集団による宿泊体験を通して、自主性や協調性、社会性を培い、感謝や思いやりの心を育む通学合宿は、尾道教育総合推進計画の基本方針の「豊かな人間性の育成」及び「家庭・地域の教育力の向上と活用」につながると考えます。宿泊施設の問題やボランティアの確保など運営体制の問題、子どもの安全確

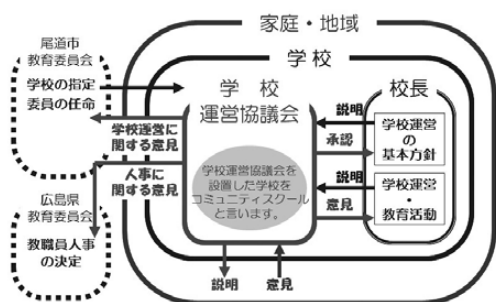
保や事故への対応などの課題が考えられますが、今後、調査・研究をしていきたいと考えています。

## 「コミュニティ・スクールの 今後の展開について

**問** コミュニティ・スクールに関して、平成25年度から始まる向東小学校に続いて、尾道市内ではどのような展開を計画していますか。

**答** コミュニティ・スクールは、学校と保護者・地域が学校運営協議会を通して一体となつて、地域に開かれ信頼される、「地域とともにある学校づくり」を進めるために導入されたものですが、コミュニティ・スクールの指定は、38都道府県、1183校と全国的に着実に広がっており、尾道市でも、土堂小学校や向東小学校の実践をもとに、地域の意見を学校運営に生かす仕組みづくりを構築していき、「地域とともにある学校づくり」の拡大に努めていきたいと考えています。

### 地域とともにある学校の実現！







日本共産党  
おかの 長寿  
ながとし

## 非正規職員の急増について

### 問

「自治体では非正規職員が増え、33・1%を占めるに至った。賃金は多くが200万円以下。恒常的な業務についているケースは正規職員への転換推進が求められる」と自治労の調査は指摘しています。尾道市では非正規職員でありながら、正規職員と同じ勤務実態にある人は何人いますか。それは同一労働同一賃金の原則に逸脱しませんか。子育て家庭の若者が非正規とされる働き方を強いられてまともな社会をつくれますか。

### 答

本市では正規職員が2234人、臨時職員が615人、嘱託職員が185人です。臨時職員の多くは、補助的業務や臨時的業務に従事しており、正規職員と同じ勤務時間でも勤務実態が同じであるとは認識していません。若年層の非正規雇用が拡大している現状は、わが国にとって課題であると認識しており、本市でも未来を担う人材確保に努めます。

## 公民館有料化問題について

### 問

「公民館が有料化されると町民の足が遠のく」「体制を縮小され

たらこれまでの活動を展開できない」などの声があります。市は「見切り発車はしない」と言いますが、この問題は短期間では片付きません。なぜなら、公民館は旧自治体によってその果たす機能が違うからです。町ごとに活動の拠点として公民館が建設され、各種団体の事務局まで公民館長が引き受けている所もあれば、もっぱら生涯学習活動の場としての役割を果たしている所、地域の集会所が公民館の役割をはたしている所もあります。利用人数も大幅に違います。果たしている機能が異なるのに、統一することは無理があり、かえって不公平が生まれませんか。

### 答

旧自治体により、公民館の果たす役割に大きな違いがあることは認識しています。この違いを放置せず、徐々に統一した姿を作り出すことが必要であり、市民の理解を得ながら進めたいと考えています。



因島の公民館

## 新年度予算作成の方針について



公明党  
ふくはら 謙二  
けんじ

### 問

景気失速の懸念の中で、いかに住民負担をかけずに、効率的な住民サービスを提供していくかが問われます。事業の見直しと選択を踏まえ、本市の新年度予算編成はどのように考えていますか。

### 答

多様な市民ニーズや少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加などに対応できるよう、新規事業に対する事前評価、既存事業の見直しなど、事業の費用対効果を検討する中で、財源の効果的な配分に努めたいと考えています。

## 地域維持型契約方式の活用について

### 問

地域の建設業者は、災害対応、インフラの維持管理等、地域社会の維持に大変重要な役割を担っています。この役割は、将来にわたって維持されなければなりません。「建設産業の再生と発展の為の方策2011」を踏まえ、地域維持事業の実施を目的とした建設の活用の考え・取り組みについてお伺いします。

### 答

建設業者の減少に伴い、災害対応、社会資本の維持管理等が困難

になった地域で担い手を確保する方策の一環として有効であると認識しています。現時点では維持管理業務の担い手は確保しています。現状を見ながら今後検討していきたいと考えています。

## 介護支援ボランティア

## ポイント制度について

### 問

介護支援ボランティアポイント制度とは、ボランティアをするとポイントがたまる制度で、当初は高齢者の介護予防と共にポイントを活用して、一部に充ててもらおうのが狙いでしたが、世代間の支え合いを取り入れるなどの新たな取り組みも生まれ全国に広がっています。制度の目的・効果等を踏まえて検討開始をとの提案をしてまいりました。介護ボランティアポイント制度を導入すべきと考えますが考えを伺います。

### 答

ボランティア活動が高齢者の生きがいづくり、健康づくりに資することは大いに評価されています。公平性やシステム構築にかかる課題はありますが、興味ある内容ですので詳しく調査してみたいと思います。

元気!





Withおのみちの声  
うねもと しげる  
宇根本 茂

## 尾道大橋無料化に伴う尾道の渡船の今後について

**問** 来年4月に迫った尾道大橋無料化にともなう、尾道の風景でもあり、交通弱者の足でもある渡船の今後のあり方について、どのように考えていますか。

**答** 通学、通院を目的として利用されている実態があり、交通弱者の移動手段の確保や、観光資源としての観点からも港内渡船を維持するための有効な施策のあり方について検討しています。

## 文化の継承のための「子どもマイスタースクールの設置について

**問** 尾道には多くの伝統文化が継承されていますが、後継者の問題などで将来に不安を残すものであり、華道・茶道を始め囲碁その他の尾道伝統文化の確かな継承に「子どもマイスタースクール」の設置はどうですか。

**答** 子ども達に郷土の伝統文化に興味を持たせるよう、伝統文化に関する教材の作製など、より多くの情報提供と、体験型の学習会を充実させるべく努めてまいります。子どもマイスタースクールの設置は有効な手段と考え研究し

てまいります。

## 夢のある新校舎の建設について

**問** 統合される学校がどのような学校なのか、またそれが新校舎であるなら、その校舎に多くの期待を膨らませていると思います。新校舎建設の取り組みは、これから予定されている他地区の統合計画においても、教育委員会の方針を市民に理解していただく絶好のチャンスだと感じます。誰もが行かせたいと思う夢の新校舎建設を望むものであります。その取り組みについてお答えください。

**答** 多様な学習内容やコンピュータなど教育機器の導入などを可能とする学習環境の確保、障害のある児童への配慮、地域の自然や文化性を生かし、豊かな施設環境などへの配慮、さらには省資源・省エネや自然環境に配慮します。

地域住民の最も身近な公共施設として、バリアフリー対策を図りつつ、地域防災拠点としての役割を果たせることを基本とします。

具体的な学校施設整備については地域住民の皆さんや関係者と協議し進めます。



「異学年型教科センター方式」を採用した中庭がある、ガラス張りの校舎(福井市 至民中学校)



新和会  
むらかみ やすひろ  
村上 泰通

## 新エネルギー政策について

**問** 福島原発事故以後、各自治体も脱原発を踏まえ、地域の特徴を生かして自然エネルギー化に取り組んでいるようです。尾道市もメガソーラーを百島に設置して太陽光発電を後押ししていますが、行政として公共の建物、特に学校には設置すべきだと思います。日々の発電量と天気、四季の関係、発電のメカニズム、節電の認識等、教材として利用できるのではないかと思います。考えをお伺いします。

**答** 現在、本市においては御調子ども図書館や市民センターむかいしま、因島南中学校に設置しております。今後建設予定の公共施設につきましても、導入を検討していきます。なお、設置されている学校では教材としての利用を進め、授業の中でも十分活用したいと思っています。

## 防災について

**問** 防災無線が聞こえにくいという苦情をよく聞きますが、対策についてお伺いします。

**答** 屋外放送のため、聞き取りにくいケースも想定されますので、エ

フェム尾道の活用、防災情報メールやエリアメール等の配信、広報車や消防団による巡回、自主防災組織等を通じての連絡など多様な手段で、情報伝達に努めているところです。

**問** 尾道市は島嶼部を含め、海岸沿いに家が密集している地域が多く、津波の被害を受けやすいと思われませんが、地域の避難地に標高を表示してはいかがですか。

**答** 現在、効果的な避難場所や分かりやすい表示方法等について、具体的な検討を進めているところです。

**問** 市内の中学校で心肺蘇生の実技を必修にして、知識と技能を身につけさせたいかがですか。命を考えるときっかけになり、いじめや自殺もなくなり、生徒が実技を経験することにより家庭から地域への広がりも期待されるのではないですか。

**答** 本市の中学校では、2年生の保健体育の授業で学習しており、一部の学校では消防署と連携し、心肺蘇生の実習を行っています。今後も消防署との連携による効果的な実習を通して事故発生時に最善の行動をとる生徒を育成し、いじめや自殺、そして災害の多い中、命の尊さや人への思いやり、自他の生命を大切に育んでいきます。

